

SG350Xスイッチのスタック設定

目的

この記事では、スイッチのスタック設定の設定方法について説明します。スタックされたスイッチは、単一の論理デバイスとして一括管理されます。場合によっては、スタックポートがリンクアグリゲーショングループ(LAG)のスタック内のメンバになり、スタックインターフェイスの帯域幅が増加することがあります。

次の用語に慣れていない場合は、シスコビジネスをご覧ください。[新用語一覧](#)。

スタック構成の詳細については、[ここをクリックして記事「スタック構成とは」を参照してください。](#)

該当するデバイス

- SG350Xシリーズ

[Software Version]

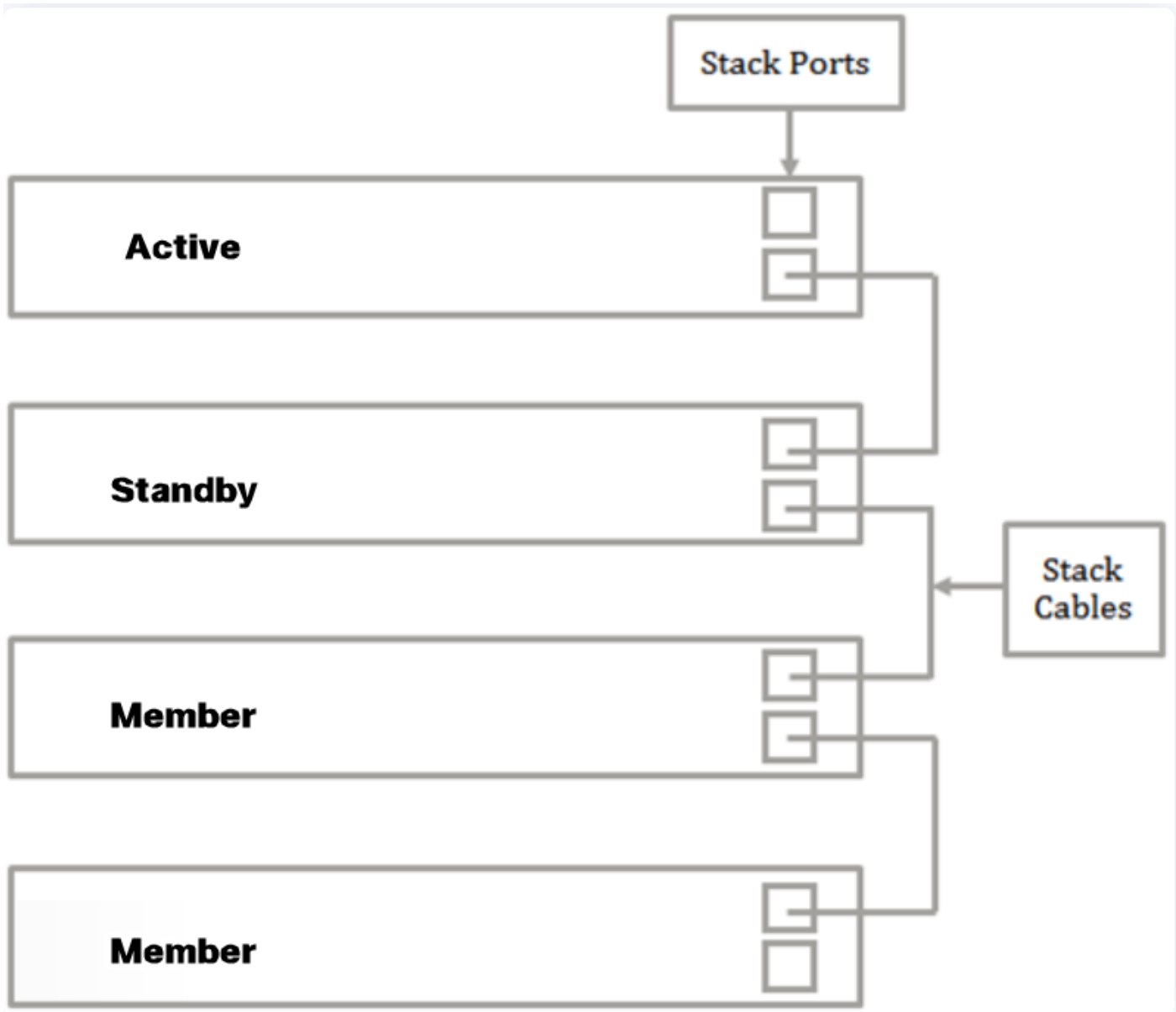
- 2.2.5.68

スイッチのスタック設定

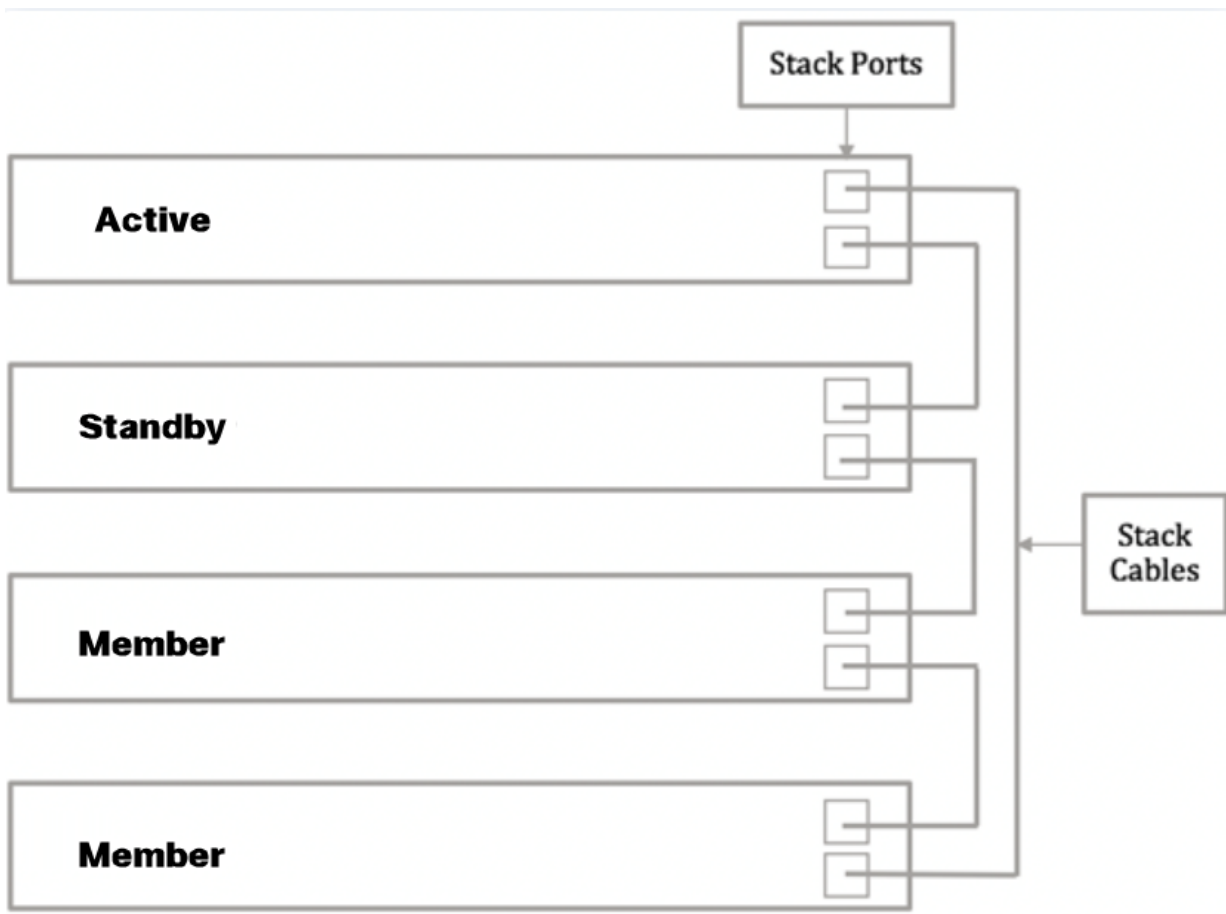
スイッチの接続

ステップ1：設定するスタックを決定します。次のオプションがあります。

- チェーン：各ユニットは隣接ユニットに接続されていますが、最初のユニットと最後のユニットの間にケーブル接続はありません。次の図は、4ユニットスタックのチェーントポロジを示しています。



- リング：各ユニットは隣接ユニットに接続されます。最後のユニットは最初のユニットに接続される。次の図は、4ユニットスタックのリングトポロジを示しています。



ステップ2: Small Form-Factor Pluggable(SFP)の一端を、スイッチのSFP+、XG3、またはXG4ポートに接続します。



この例では、ケーブルはスイッチのXG3ポートに接続されています。XG1およびXG2ポートでは、従来のイーサネットケーブルを使用してスイッチをスタックすることもできます。短い範囲でも同様のパフォーマンスが提供されますが、ケーブルの長さが100 mを超える場合、SFPは遅延が少なく、信頼性が高くなります。



ステップ3: SFP+ケーブルのもう一方の端を、スイッチのSFP+、XG3、またはXG4ポートに接続

します。



この例では、ケーブルはスイッチのXG3ポートに接続されています。

ステップ4：残りのスイッチにステップ2～3を繰り返します。

これで、目的のトポロジに従ってスイッチを接続できました。

アクティブスイッチのスタック設定

アクティブな選択プロセス

アクティブユニットは、アクティブ対応ユニット（1または2）から選択されます。アクティブユニットを選択する際の要因は、次の優先度で考慮されます。

- System Up Time：アクティブ対応ユニットはアップタイムを交換します。アップタイムは10分のセグメントで測定されます。セグメント数が多い単位が選択されます。両方のユニットのタイムセグメント数が同じで、一方のユニットのユニットIDが自動的に設定されている間に、他方のユニットのユニットIDが手動で設定された場合、手動で定義されたユニットIDを持つユニットが選択されます。それ以外の場合は、ユニットIDが最も小さいユニットが選択されます。両方のユニットIDが同じ場合、MACアドレスが最も小さいユニットが選択されます。

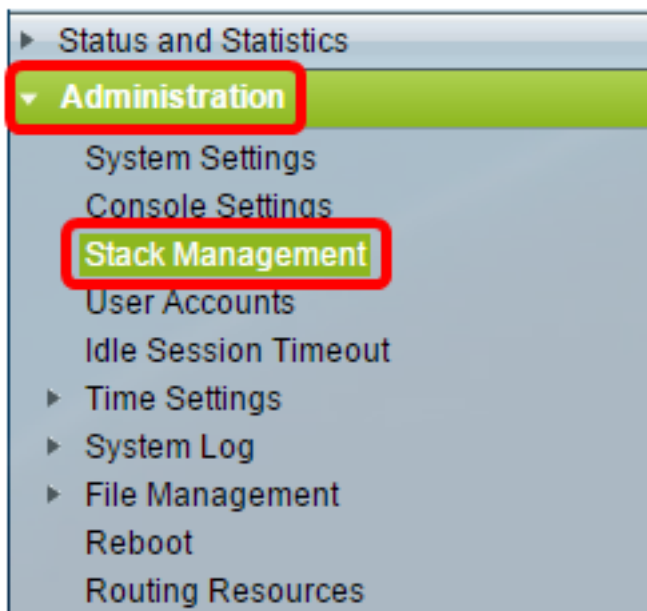
スタンバイユニットのアップタイムは、スイッチのフェールオーバープロセスで[アクティブ (Active)]として選択されている場合に保持されます。

- 「ユニットID」(Unit ID) – 両方のユニットのタイムセグメント数が同じ場合、ユニットIDが最も小さいユニットが選択されます。
- MACアドレス：両方のユニットIDが同じ場合、MACアドレスが最も小さいユニットが選択されます。

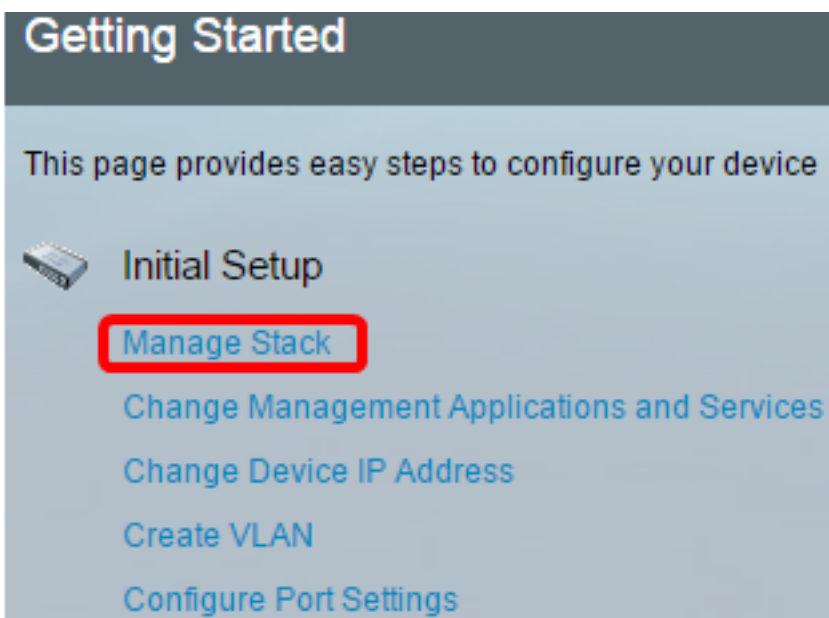
スタックを動作させるには、アクティブユニットが必要です。アクティブユニットがアクティブロールを引き継ぎます。アクティブスイッチの選択プロセスの後、スタックにはユニット1またはユニット2が含まれている必要があります。そうでない場合、スタックとそのすべてのユニットは完全な電源オフではなく部分的にシャットダウンされますが、トラフィック転送機能は停止します。

アクティブスイッチでスタック設定を行うには、次の手順を実行します。

ステップ1：スイッチのWebベースのユーティリティにログインし、[Administration] > [Stack Management]を選択します。

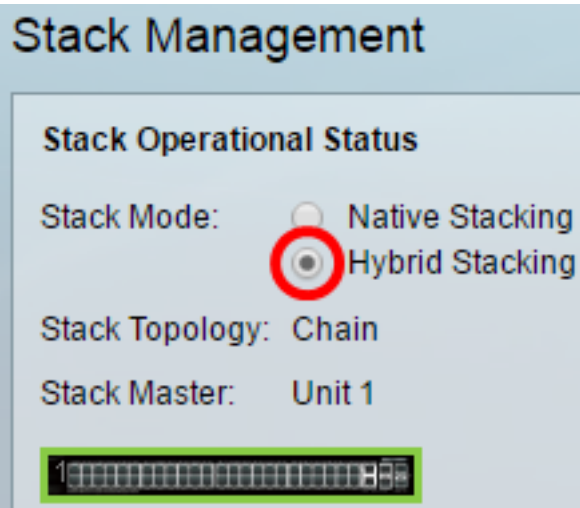


または、[はじめに]ページの[初期設定]の下にある[スタックを管理]オプションをクリックします。



ステップ2：スタックモードのオプションをクリックします。次のオプションがあります。

- ネイティブスタック：スイッチは、すべてのユニットが同じタイプのスタックの一部です。
- ハイブリッドスタック構成：スイッチは、Sx350デバイスの混合タイプまたはSx550デバイスの混合タイプで構成できますが、Sx350デバイスとSx550デバイスの混在はできません。

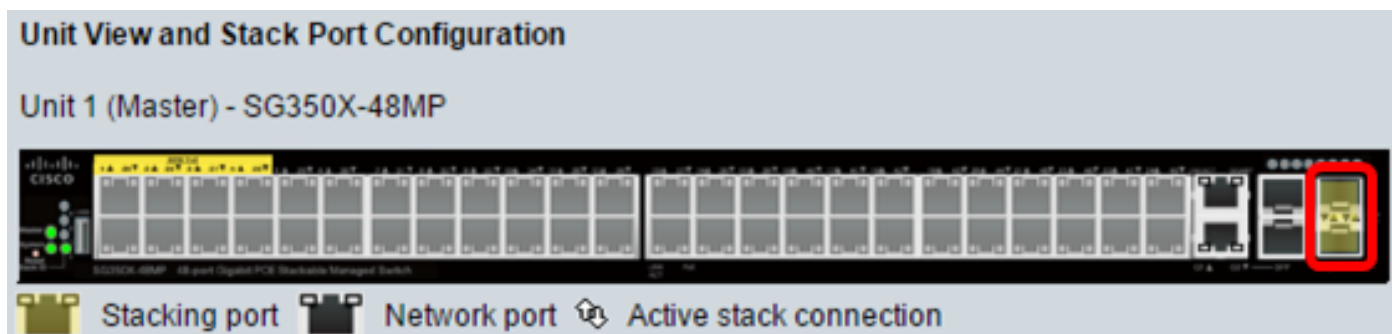


この例では、[ハイブリッドスタッキング]が選択されています。

スタックトポロジには、スタックのトポロジがチェーンかリングかが表示されます。この例では、トポロジはチェーンです。

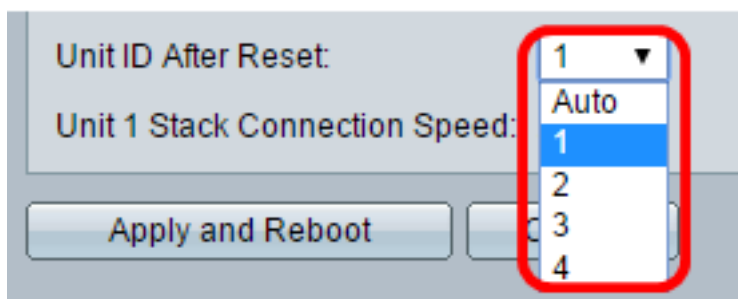
Stack Activeスイッチには、スタックのアクティブユニットのユニットIDが表示されます。この例では、設定されているスイッチ (ユニット1) がスタックのアクティブです。

ステップ3 : スタッキングポートとして設定するポートを少なくとも2つクリックします。他のスイッチに接続されているポートを含めます。



この例では、XG3とXG4が選択されています。

ステップ4 : ドロップダウンリストからユニットIDを選択するか、[Auto]を選択してユニットIDをシステムに割り当てます。



この例では、1が選択されています。

[Unit x Stack Connection Speed]には、スタック接続の速度が表示されます。

ステップ5:[Apply and Reboot]をクリックします。

Stack Management

Stack Operational Status

Stack Mode: Native Stacking
 Hybrid Stacking

Stack Topology: Chain




Stack Master: Unit 1



Unit View and Stack Port Configuration

Unit 1 (Master) - SG350X-48MP



 Stacking port  Network port  Active stack connection

Unit ID After Reset:

Unit 1 Stack Connection Speed: Auto

Apply and Reboot

Cancel

ステップ6: ポップアップメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。設定が実行コンフィギュレーションファイルにコピーされ、スタックがリブートされます。

Changing the system mode will delete the startup configuration file and immediately reset the device. It is highly recommended that you back up the configuration file before proceeding.

Would you like to continue?

OK

Cancel

ステップ7: スイッチのWebベースのユーティリティにログインします。

ネットワークの保護を強化するために、新しいパスワードを設定する必要があります。

ステップ8:[Old Password]フィールドにスイッチのユーザパスワードを入力します。

Change Password

Please change your password from the default settings for better protection of your network

The minimum requirements are as follows:

- Cannot be the same as the user name.
- Cannot be the same as the current password.
- Minimum length is 8.
- Minimum number of character classes is 3. Character classes are upper case, lower case, numeric, and special characters.

New Password Configuration

Old Password:

ステップ9:[New Password]フィールドと[Confirm Password]フィールドに新しいパスワードを入力します。

New Password Configuration

Old Password:

New Password:

Confirm Password:

Password Strength Meter:

Below Minimum

ステップ10: (オプション) パスワードの強度の要件をバイパスするには、[パスワードの複雑さ強制を無効にする]チェックボックスをオンにします。

Password Strength Meter:

Below Minimum

Password Strength Enforcement

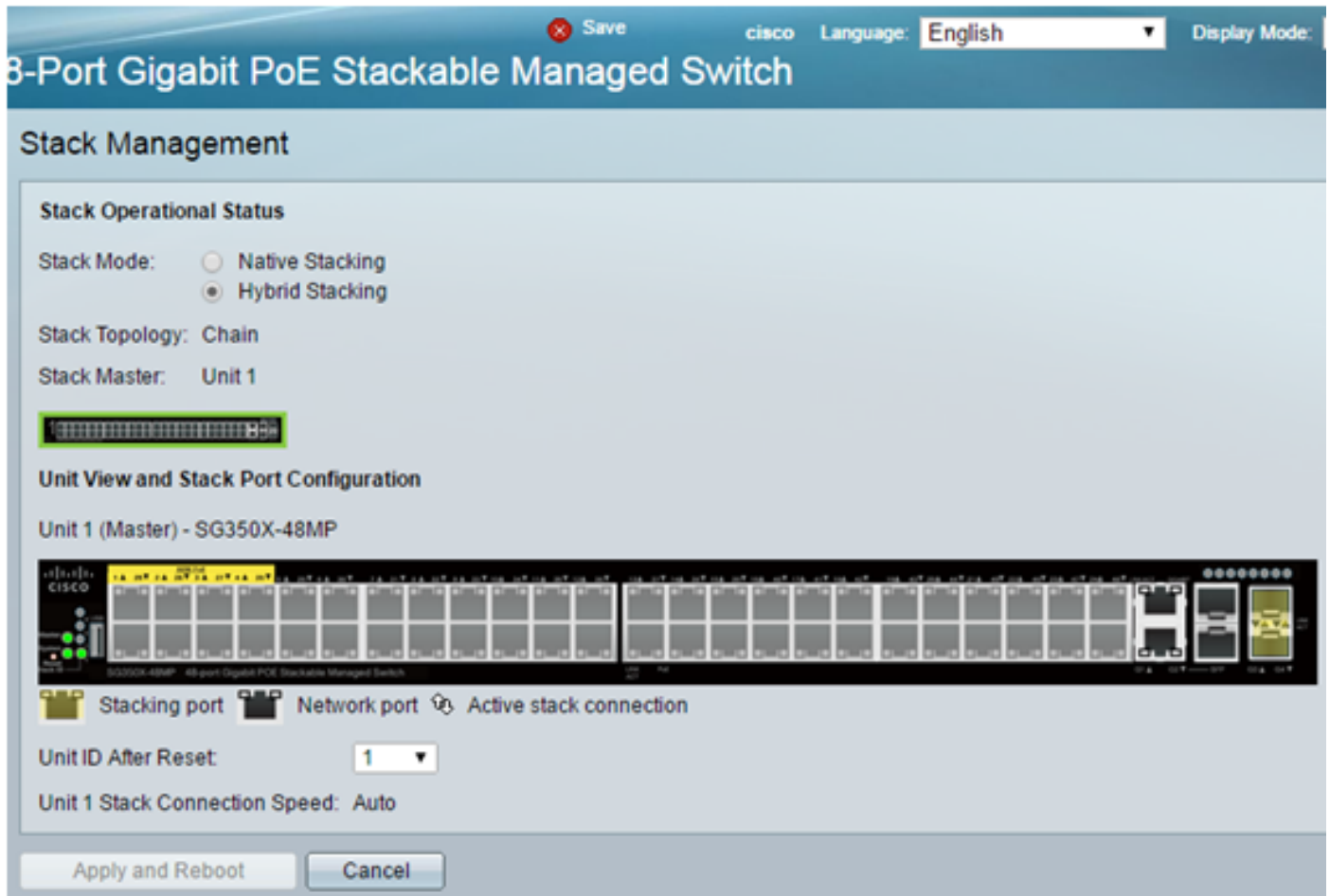
Disable

スイッチのPassword Strengthセキュリティ機能の設定方法については、[ここをクリックして手順を参照してください](#)。

ステップ11:[Apply]をクリックし、設定を適用します。

ステップ12:[Administration] > [Stack Management]を選択します。

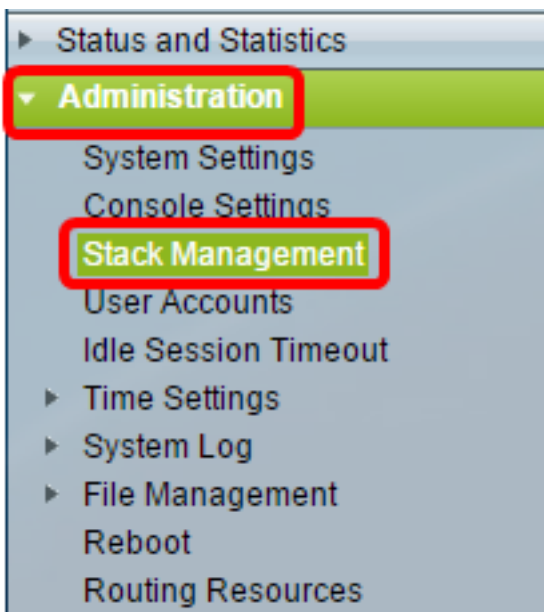
スイッチにアクティブスイッチの設定が表示されます。



これで、アクティブユニットのスタック設定が完了しました。

スタンバイまたはメンバスイッチのスタック設定

ステップ1：スイッチのWebベースのユーティリティにログインし、[Administration] > [Stack Management]を選択します。



または、[はじめに]ページの[初期設定]の下にある[スタックを管理]オプションをクリックします。

Getting Started

This page provides easy steps to configure your device



Initial Setup

Manage Stack

Change Management Applications and Services

Change Device IP Address

Create VLAN

Configure Port Settings

ステップ2：スタックモードのオプションをクリックします。次のオプションがあります。

- ネイティブスタック：スイッチは、すべてのユニットが同じタイプのスタックの一部です。
- ハイブリッドスタック構成：スイッチは、Sx350デバイスの混合タイプまたはSx550デバイスの混合タイプで構成できますが、Sx350デバイスとSx550デバイスの混在はできません。

Stack Management

Stack Operational Status

Stack Mode: Native Stacking
 Hybrid Stacking

Stack Topology: Chain

Stack Master: Unit 1



この例では、[ハイブリッドスタッキング]が選択されています。

スタックトポロジには、スタックのトポロジがチェーンかリングかが表示されます。

[スタックアクティブ]には、スタックのアクティブユニットのユニットIDが表示されます。

ステップ3：スタッキングポートとして設定するポートを少なくとも2つクリックします。他のスイッチに接続されているポートを含めます。

Unit View and Stack Port Configuration

Unit 1 (Master) - SG350X-48MP



Stacking port Network port Active stack connection

この例では、XG3とXG4が選択されています。

ステップ4：ドロップダウンリストからユニットIDを選択するか、[Auto]を選択してユニットIDをシステムに割り当てます。

Stack Management

Stack Operational Status

Stack Mode: Native Stacking
 Hybrid Stacking

Stack Topology: Chain

Stack Master: Unit 1

Unit View and Stack Port Configuration

Unit 1 (Master) - SG350X-48MP

Stacking port Network port Active stack connection

Unit ID After Reset: **Auto**

Unit 1 Stack Connection Speed: Auto

Apply and Reboot Cancel

この例では、[Auto]が選択されています。

[Unit x Stack Connection Speed]には、スタック接続の速度が表示されます。

ステップ5:[Apply and Reboot]をクリックします。

ステップ6：ポップアップメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

Changing the system mode will delete the startup configuration file and immediately reset the device. It is highly recommended that you back up the configuration file before proceeding.

Would you like to continue?

OK Cancel

スイッチがリブートし、設定が適用されます。

ステップ7：アクティブスイッチのWebベースのユーティリティにログインし、[Administration] > [Stack Management]を選択します。

アクティブスイッチの[Stack Management]ページに、設定されているスイッチが表示されます。

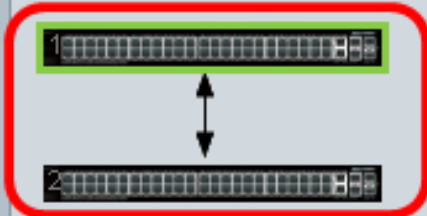
Stack Management

Stack Operational Status

Stack Mode: Native Stacking
 Hybrid Stacking

Stack Topology: Chain




Stack Master: Unit 1



Unit View and Stack Port Configuration

Unit 1 (Master) - SG350X-48MP



 Stacking port  Network port  Active stack connection

Unit ID After Reset:

Unit 1 Stack Connection Speed: Auto

Apply and Reboot

Cancel

ステップ8 : スタンバイスイッチをクリックして、設定を確認します。設定されたポートには、[スタッキングポート(Stacking port)]および[アクティブスタック(Active stack)]接続アイコンが表示されます。

Stack Management

Stack Operational Status

Stack Mode: Native Stacking
 Hybrid Stacking

Stack Topology: Chain

Stack Master: Unit 1



Unit View and Stack Port Configuration

Unit 2 (Backup) - SG350X-48MP



Stacking port Network port Active stack connection

Unit ID After Reset: Auto ▼

Unit 2 Stack Connection Speed: Auto

Apply and Reboot

Cancel

ステップ9：手順1～8を繰り返して、メンバー単位を設定します。

これで、スイッチのスタック設定が完了しました。

[この記事に関連するビデオを表示...](#)

[シスコのその他のテクニカルトークを表示するには、ここをクリックしてください](#)